



感動的な合唱コンクールでした！

田尻町立中学校の校長として、初めての合唱コンクールでした。きっと素晴らしい行事になると思っていましたが、私の想像をはるかに超える感動的な合唱コンクールになりました。全ての学級が素晴らしかったです。それぞれの学級の良さが、とてもよく出ていました。皆さんの合唱を聴いている時、感動して涙が止まりませんでした。素晴らしい時間を作ってくれた皆さんに感謝の気持ちで一杯です。

まずは、1年生。初めての合唱コンクールはいかがでしたか。トップバッターを務める1年生は、初めての舞台上で緊張したことだと思いますが、とても堂々としていて、みんなで力を合わせて歌っている様子が伝わり感動しました。本当によく頑張りました。続いて2年生。私は、2年生の合唱を聴いて、それぞれのクラスの良さがとても伝わって来ました。自分たちらしく歌う姿は、見ている人の心を揺さぶります。どのクラスも一つになろうとして歌う姿が見られ、心が熱くなりました。この気持ちをさらに大きなものにして、来年度は、あなたたちらしい合唱コンクールを作ってください。

最後に、3年生。皆さんにとっては、今年度を締めくくる大切な行事でした。グランプリがどの学級に行くのか、審査員としても気になっていましたが、文句なく3年生が力を発揮しました。私にとっては、3年生のA組もB組もC組も金賞に値する出来栄だと感じました。今年の3年生を超える学年が、この先に出るのかと心配になるくらいの出来栄でした。あなたたちが作ってくれた合唱コンクールは、田尻町立中学校の合唱コンクールを高いレベルに押し上げてくれました。これを良き伝統にして、新たな伝説が生まれることに期待したいと思います。田尻町立中学校の皆さんは最高です！



素晴らしい作品が並びました！

合唱コンクールの日に、美術室・図書櫃・被服室で、1年生・2年生・3年生の美術作品と美術クラブ・家庭科クラブ・コンピュータークラブの作品を展示しました。どの作品も心を込めて作られていて素晴らしかったです。



1年生作品
「絵文字」

2年生作品
「防火図画ポスター」

3年生作品
「着物のデザイン」

校外学習「コリアタウン」(2年生)！

10月31日に、2年生が大阪市生野区にあるコリアタウンへ校外学習に行ってきました。目的は、①班活動を通じた集団づくりと生徒の自主性や社会性を育む。②在日コリアンの方の思いに触れ、人権的な感覚を養う。の二つです。当日は、班ごとに吉見ノ里駅に集合し、南海電車とJR環状線を使ってコリアタウンまで行きました。通勤時間帯で、とても混雑していましたが、生徒の皆さんは辛抱強くマナーを守って行動できました。現地に着くと、初めに大阪朝鮮会館でお二人の在日コリアンの方から、日本で生まれ育った中で体験したことや感じていることを丁寧にお話していただきました。Kポップが若者の間で人気となり、コリアタウンが観光地として親しまれている中ですが、今日までの人生を通して、深く考えて来たことなども聴かせていただきました。生徒の皆さんから30分近くの質問が出るほどの濃い学びとなりました。その後

は、グループ別で、コリアタウンを散策し、食べ歩きなどを楽しみました。私も生徒の皆さんと一緒に、コリアタウンの散策を楽しみました。最後まで、ルールとマナーを守って行動した2年生の皆さんの成長を感じました。



谷川俊太郎さんの名言と出逢いました！

国民的キャラクターの絵本『ガチャピンとムックのものがたり』の著作もある、日本の現代詩を代表する詩人・谷川俊太郎さんが、先月お亡くなりになりました。谷川さんを偲んで、図書室をのぞいてみると、「きみを変える50の名言」という本を見つけ、その中に谷川俊太郎さんの名言があったので紹介します。

「ぼくはいつも 何か言葉以上のものにこがれて、そのため、時にはただ 黙っていたいのです。」

詩人など文学者や哲学者は、最初にインスピレーションで何か言葉以上のものをとらえます。そしてそれを「言葉」にしようと必死で考えます。言葉は、一生懸命探すと、あるときどこから降ってくるそうです。谷川さんが沈黙している時は、きっとそれを待っている時なのかもしれません。みなさんも谷川俊太郎さんの言葉に触れてみてください。図書室に行けば、出逢えますよ！

(校長 池本 勝利)

今後の予定

12/2(月)	ひまわり会(生徒会役員と保護司との座談会)
12/3(火)	部活動なし(会議の為)
12/13(金)	5限授業・部活動なし(会議の為)
12/19(木)	【全学年】期末三者懇談会〔～23(月)〕
12/24(火)	終業式
12/25(水)	冬季休業開始〔～1/7(火)まで〕
1/8(水)	始業式
1/9(木)	【1・2年生】大阪府チャレンジテスト 【3年生】第4回 学力診断テスト
1/10(金)	(月)の時間割
1/17(金)	【1・2年生】英語検定受験
1/24(金)	【1年生】思春期ふれあい学習(5・6限) 【6年生保護者対象】入学説明会
1/29(水)	【3年生】学年末テスト〔～31(金)〕
2/10(月)	【3年生】大阪府私立高校入試〔～11(火)〕
2/25(火)	【1・2年生】学年末テスト〔～27(木)〕

人権週間にあたり

12月に入りました。11月15日の合唱コンクールを境に一気に秋らしくなりました。校庭周辺の木々の紅葉がすすみ、毎朝道端には落ち葉のじゅうたんができています。しかし、銀杏の葉っぱはまだ青いままでした。木にも種類によって紅葉時期が異なり、人間と同じような個性を感じます。

さて、12月10日は「世界人権 DAY」です。これは80年ほど前に「世界人権宣言」が発表されたことを記念して定められた日です。毎年、この日を含む一週間を「人権週間」と定め、一年の中でも特に人権について考えようと呼びかけられています。

「世界人権宣言」は、第二次世界大戦で多くの犠牲者を出したことを反省に、「人権を世界的な枠組みで保障していく事が大切だ」という考えから、国際連合によって1948年に採択された宣言です。この宣言の基本理念は各国の憲法や法律にも取り入れられ、様々な国際会議の決議にも用いられています。

二度の大戦の背景には、産業革命に成功した「欧米列強」と呼ばれる国々が、富みを求めて軍力で支配地を広げる「帝国主義」がありました。自国の生産に必要な原料と、販売する市場を求めて植民地を広げる中で、ついには列強同士が衝突します。日本が明治以降にかかわった日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦はすべてそれが理由です。

…戦争が連続して起こる中で、その規模はますます拡大します。「豊かな生活のために発明されたはずの技術」は、ほとんどが戦争に利用されます。通信技術は敵国の情報を収集して味方の通信網に活用し、航空機も空爆に用いられました。やがて、毒ガスや原子爆弾といった考えるだけでも恐ろしい兵器まで…。

戦争規模の拡大は、そのまま犠牲者の拡大につながります。技術の拡大が人権侵害も広げていくという悲惨な結果を招いたのです。第一次世界大戦では1500万人、第二次世界大戦では5000万人以上だと言われています。

…なぜ、このようなことになったのでしょうか？

人間はいつの時代も、つねに「もっとよりよく暮らしたい」と考えます。便利な暮らし、ぜいたくな暮らし、欲求は尽きないものです。「もっともっと…」と思ううちに、やがて、他者よりも自分を優先する気持ちや行動がエスカレートしていくものなのかもしれません。

…しかしながら、人間は「考えて行動する生き物」です。過去の行動から反省すべき点があればその度に改善し、「お互いを思いやり、よりよく生きる」ために成長もしてきました。宗教や道徳が生まれたのもその例です。

あらためて「世界人権宣言」の一部を紹介します

【第1条】

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心を授けられており、互いに同法の精神をもって行動しなければならない。

【第2条】

すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的もしくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別も受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。

この内容は、17世紀にヨーロッパから市民革命が起きた中で確立してきた人権思想が根底にあります。学生時代に歴史の授業で習った記憶があると思います。当時は王や貴族が絶対的な権力を持っていました。それに疑問や反発をもった市民が革命を起こし、獲得してきた歴史があります。

私たちが、生まれて一人前になるまで守り育てられること、6歳からは学ぶ権利が与えられること、自分で職業を選べること、投票や立候補によって自分の政治的な意見を出せることは、人類が長年の努力によって私たちに与えてくれた人権なのです。

今や、国連が掲げたSDGs(持続可能な開発目標)は人権上の課題によって起きている世界の諸問題を解決するための指標です。

私たちは、過去の先人たちに恥ずかしくないように、権利をしっかり守り続けていく必要があります。

最近のメディア等による報道には、ハラスメント等の人権侵害に関しては厳しくとがめられる風潮がある一方で、SNSによるやりとりには個人を攻撃する匿名の投稿が後を絶たないと聞きます。また、「フェイクニュース」や偽のサイトなどが多く存在し、人権侵害を越えた「人間不信」すら招くケースも増えていると聞きます。

「人の権利」を考えた時、真っ先に気を付けることは何でしょうか。

それはやはり、自分がきちんと相手の立場に立ってみる事、相手の気持ちになって考える事だと思います。

冒頭でも述べたように、人にはそれぞれ個性があります。同じ出来事に遭遇しても、感じ方は人それぞれ違います。

同じように感じることで共感や一体感が生まれるのはうれしい事です。また感じ方や意見が違くと、自分にはなかった新しい観点や価値観に触れることができます。課題にぶつかったときに様々なアイデアが生まれるのも個性があるおかげです。

自分との価値観が合わないからといって、合わせようと強要したり、攻撃したり差別したりすることは決して許されません。また、SNSは相手の顔が見えません。見えないとついついがった言葉で中傷してしまう可能性があります。活字の裏に込められた「相手の心」を理解しようとする気持ちが大切です。

いずれにせよ、私たち大人のふるまい方が子どもに与える影響はとても大きなものです。学校生活や家庭生活の中で子どもに声をかけるときは、まず大人の私たちが「正しい人権感覚(=相手を思いやる心)」をもって接するべきでだと考えます。

(教頭 横井武志)